

- 問1 7世紀初めのアラビア半島において、ムハンマドが唯一神アッラーの啓示を受けたとして開き、現代でも世界中に多くの信者がいる宗教は何ですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. 仏教 2. ヒンドゥー教 3. イスラム教 4. キリスト教
- 問2 古代中国の文明が発展する過程で、思いやりの心（仁）と正しい行い（礼）を基本とした政治を説き、のちに日本や朝鮮半島などの東アジア諸国の政治や教育に大きな影響を与えた人物は誰ですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. シャカ 2. 孔子 3. 卑弥呼 4. 始皇帝
- 問3 西暦1世紀、日本では倭の奴国の王が中国の漢（後漢）から金印を授かったとされる時期において、地中海を囲む広大な領土を支配していたローマ帝国の様子として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 広大な領土を統治するために、軍隊の移動を支える道路網や、都市生活に不可欠な水道などの公共施設が整備された。
2. メソポタミアにおいて、粘土板に商取引の記録を残すための楔形文字が発明され、高度な文明が築かれた。
3. アテネなどのポリス（都市国家）を中心に、市民が政治に参加する民主政治が最も盛んに行われた。
4. 古代ギリシャ・ローマの文化を復興させようとするルネサンスの動きが広まり、レオナルド・ダ・ヴィンチらが活躍した。
- 問4 古代メソポタミア文明において編纂されたハンムラビ法典の歴史的な意義について、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. ナイル川の氾濫を予測する天文学と結びつけ、農業の時期を厳格に管理することで、神の化身としての王の権威を強化しようとした。
2. カースト制度と呼ばれる厳格な身分秩序を法的に正当化し、宗教的な儀礼を遵守させることで、都市の衛生状態を保とうとした。
3. 身分制度を完全に否定し、すべての人々が法の下で平等であることを宣言することで、市民による民主的な政治を実現しようとした。
4. 法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。
- 問5 日本の縄文時代と同じ時期、世界各地では大河の流域を中心に古代文明が成立しました。中国の黄河流域で発展した文明について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)
1. ナイル川の流域で、洪水の時期を予測するために太陽暦を作り、死後の世界を信じてピラミッドを建設した。
2. チグリス川・ユーフラテス川の流域で、粘土板に楔形文字を刻み、独自の天文学を発展させた。
3. インダス川の流域で、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市を建設し、公共の浴場や下水道を整備した。
4. 黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、占いなどの記録のために甲骨文字が使用された。
- 問6 11世紀末、地中海の東岸に位置するパレスチナ地方の聖地エルサレムがイスラム勢力の支配下に入ったことを受け、ローマ教皇の呼びかけによって組織されたヨーロッパ諸国の軍隊の名称を選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
1. ルネサンス 2. 十字軍 3. ギルド 4. 宗教改革
- 問7 古代中国の王朝である殷（商）において、政治のあり方と文字の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。
2. 木簡や竹簡に墨で文字を書く技術が広まり、律令に基づいた法治国家の基礎が築かれた。
3. パピルスに記録された象形文字を用いて、ナイル川の氾濫を予測する天文学が発達した。
4. 粘土板に刻まれた楔形文字を用いて、目には目を、歯には歯をで知られる法典が記された。
- 問8 中国の黄河流域で発見された、亀の甲羅や牛の骨に複雑な形状の文字が刻まれた資料について、この文字を使用していた王朝とその背景の説明として最も適切なものはどれですか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 秦の時代に、始皇帝が文字を統一して全国で公式に使用するために定めた。
2. 殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。
3. 漢の時代に、儒教の教えを広く民衆に伝えるための石碑に刻むために作られた。
4. 隋の時代に、科挙の試験を正確に実施するために標準化された書体として広まった。
- 問9 500年、1000年、1500年、2000年といった数百年単位の区切りで日本史の時代区分を考えたとき、1800年代後半の明治維新を境界線として始まる、現在の私たちにつながる時代区分はどれですか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
1. 中世 2. 近代・現代 3. 原始・古代 4. 近世
- 問10 紀元前2500年ごろからインダス川流域で栄えた古代文明では、石で作られた四角い印章に動物の図像とともに独自の文字が刻まれていました。この文字に関する説明として、他の文明の文字と比較した際の特徴を次の中から選びなさい。 (2025年 愛知県公立入試 類似)
1. 粘土板に刻まれることで記録が残る、現在ではその内容の多くが解明されている。
2. エジプトの象形文字やメソポタミアのくさび形文字とは異なり、現在も解読されていない。
3. フェニキア人によって考案され、後のアルファベットの起源となった。
4. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれた文字であり、現在の漢字の原型となった。
- 問11 紀元前3世紀、戦国時代の中国を初めて統一した人物は、北方の遊牧民の侵入を防ぐためにそれまでの防壁を連結・整備しました。この人物として正しいものを次の中から選びなさい。 (2024年 京都府公立入試 類似)
1. 秦の始皇帝 2. フビライ・ハン 3. 孔子 4. 西郷隆盛
- 問12 紀元前2500年ごろ、インド亜大陸北西部のインダス川流域に成立した古代文明について、モヘンジョ・ダロやハラッパなどの遺跡に見られる都市の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された
2. ジググラトと呼ばれる聖塔を中心とした、複数の都市国家が形成された
3. 青銅器とともに甲骨文字が用いられた、大規模なかんがい農業が行われた
4. 国王の権威を示すために、巨大な石造りのピラミッドや神殿が建設された
- 問13 日本列島における旧石器時代の人々の生活や道具の特徴について、その背景を含めて説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。 (2023年 三重県公立入試 類似)
1. 弓矢を用いてシカやイノシシなどの足の速い小動物を狩り、表面を磨き上げた磨製石器を主な道具として用いた。
2. ナウマンゾウやオオツノシカなどの大型の獲物を追って移動しながら生活し、狩猟や解体には打製石器を用いた。
3. 大陸から伝わった稲作の技術により食料生産が安定し、収穫のために石包丁などの打製石器を用いた。
4. 特定の場所に定住して竪穴住居を営み、食料を保存するために表面に縄目の文様をつけた土器を使用した。

## 答え合わせ・解説

|     |                                                                       |                                                                                                                                                                                                            |
|-----|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 3<br>イスラム教                                                         | ムハンマドはメッカの商人の出身であり、唯一神アッラーを信仰するこの宗教を創始しました。当時のアラビア半島は多神教が一般的でしたが、厳しい修行ではなく信仰による救いを説いたこの教えは急速に広まり、世界三大宗教の一つとなりました。                                                                                          |
| 問2  | 答え 2<br>孔子                                                            | 殷の時代からさらに時代が下ると、社会の混乱を収めるための思想が模索されるようになりました。孔子が説いた儒教の教えは、家族や国家の秩序を重視するものであり、日本においても律令国家の形成期から江戸時代の学問に至るまで、長い期間にわたって道德の規範とされました。                                                                           |
| 問3  | 答え 1<br>広大な領土を統治するために、軍隊の移動を支える道路網や、都市生活に不可欠な水道などの公共施設が整備された。         | 西暦1世紀頃のローマ帝国は「バクス・ロマーナ（ローマの平和）」と呼ばれる最盛期にありました。広大な帝国全域に張り巡らされた「ローマの道」は軍隊の迅速な派遣を可能にし、都市部では高度な土木技術を用いて水道橋などの公共インフラが建設されました。メソポタミアの楔形文字やギリシャの民主政治は紀元前の出来事であり、ルネサンスは14世紀以降の出来事であるため、時期が一致しません。                  |
| 問4  | 答え 4<br>法を文章化して明示することで、支配者の主観による不公平な裁判を防ぎ、多民族が混在する広大な領土を安定して統治しようとした。 | メソポタミアは周囲に遮るものがない開かれた地形で、多くの民族が絶えず侵入・交代する地域でした。異なる文化や習慣を持つ人々を一箇所にまとめて統治するためには、共通のルールを文章化（成文化）し、王の権威のもとで統一的な裁判を行う必要がありました。これにより、社会の秩序を保ち、国家としてのまとまりを強化することに成功しました。他の選択肢は、ギリシャの民主政、エジプト文明、インダス文明の特徴が混ざっています。 |
| 問5  | 答え 4<br>黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、占いなどの記録のために甲骨文字が使用された。                | 中国文明は、紀元前16世紀ごろに黄河流域で興った「殷（いん）」などの王朝を中心に発展しました。この文明では祭祀のために精巧な青銅器が作られたほか、亀の甲羅や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われており、これが現在の漢字の原型となりました。他の選択肢はメソポタミア文明、インダス文明、エジプト文明の特徴を示しています。                                                |
| 問6  | 答え 2<br>十字軍                                                           | 11世紀後半、セルジューク朝（イスラム勢力）がパレスチナ地方の聖地エルサレムを占領したため、ローマ教皇ウルバヌス2世がその奪還をヨーロッパの諸侯や騎士に呼びかけました。この呼びかけに応じて組織された軍隊を十字軍と呼び、13世紀後半まで断続的に遠征が行われました。                                                                        |
| 問7  | 答え 1<br>亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。                       | 殷の時代は、王が占いによって国政の重要事項を決定する神権政治が行われていました。その占いの道具として亀の甲羅や動物の骨が使われ、そこに刻まれた「甲骨文字」が現在の漢字のルーツとなりました。他の選択肢は、エジプト文明やメソポタミア文明、あるいは後の時代の中国の制度に関する説明です。                                                               |
| 問8  | 答え 2<br>殷の時代に、王が政治の重要事項を占った結果などを記録するために使用された。                         | 殷の王は、祭祀や戦争、農作物の収穫などの重要事項を、亀の甲羅や牛の骨を焼いたときに入る「ひび」の形で占っていました。その占いの内容や結果を刻んだものが甲骨文字であり、当時の政治が宗教的な権威に基づいていたことを示しています。                                                                                           |
| 問9  | 答え 2<br>近代・現代                                                         | 1800年代後半の明治維新は、日本が江戸幕府による封建的な社会から、憲法の制定や議会の開設、産業革命などを経験して資本主義国家へと変貌を遂げる大きな境界線です。この時期以降から現在までの期間は、一般的に「近代」および「現代」として一括りに区分的に区別されることが多いです。                                                                   |
| 問10 | 答え 2<br>エジプトの象形文字やメソポタミアのくさび形文字とは異なり、現在も解読されていない。                     | インダス川流域で栄えたインダス文明では、独自のインダス文字が使用されていました。この文字は印章などに刻まれて発見されていますが、ロゼッタ・ストーンのような解読の鍵となる資料が見つかっていないため、現在も解読には至っていません。これに対し、メソポタミア文明のくさび形文字や中国の甲骨文字（漢字の原型）などは解読が進んでいます。                                         |
| 問11 | 答え 1<br>秦の始皇帝                                                         | 紀元前221年に中国を初めて統一した秦の始皇帝は、強力な中央集権体制を確立しました。北方の騎馬遊牧民である匈奴（きょうど）の侵攻に備え、それまで各国が築いていた長城を修築・連結して「万里の長城」を完成させました。孔子は春秋時代の儒教の始祖、フビライ・ハンは13世紀の元（モンゴル帝国）の皇帝、西郷隆盛は日本の幕末から明治にかけて活躍した人物です。                              |
| 問12 | 答え 1<br>下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された                                | インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパは、焼成レンガを用いた整然とした街並みが大きな特徴です。特に、網の目のように張り巡らされた排水用の下水道や、共同で利用されたと考えられる大規模な公衆浴場などは、当時の技術水準が極めて高く、都市が極めて計画的に設計されていたことを物語っています。                                                    |
| 問13 | 答え 2<br>ナウマンゾウやオオツノシカなどの大型の獲物を追って移動しながら生活し、狩猟や解体には打製石器を用いた。           | 旧石器時代は氷河時代とも重なり、当時の人々は大型の動物を狩るために群れを追って移動を繰り返す生活を送っていました。そのため、獲物を仕留めたり解体したりするために、石を打ち欠いただけの鋭利な打製石器が活用されました。弓矢や定住生活、土器の使用は縄文時代、本格的な稲作や石包丁の使用は弥生時代の特徴であり、石包丁は磨製石器に分類されるため旧石器時代の説明としては誤りです。                   |